

2025年度 事業計画及び収支予算

2025年4月1日から2026年3月31日

I. 予算の概要

2025年度収支予算は、『収支予算書（損益ベース）』の通り。

1) 運用利回り

我が国の10年利付日本国債は、2024年度後半1%を超える水準となり、2025年は、年初来利回り1.2～1.4%台で推移している。この状況下、2024年後半に20年利付国債（利率1.8%）を購入。（20年利付国債は、現在、2%程度の利回り水準）
2025年度は、伊藤忠商事株式の配当金増加により前年度を上回る運用収益134.6百万円を見込む。

また、伊藤忠商事及びグループ会社等からの寄付金、指定正味財産の取崩しにより、運用収入と合わせ、159.6百万円の経常収益を確保する。

2) 寄付金収入

◇一般寄付金 4.5 百万円 主に伊藤忠商事グループ会社からの寄付金

◇指定寄付金 23.0百万円 伊藤忠商事、及びグループ企業からの使途を指定した寄付金

3) 財団事業

前年度と同様「子ども文庫助成事業」と「電子図書普及事業」の2事業とする。
2025年度は、「子ども文庫助成事業」において、同事業の周知と子ども文庫関連活動の活性化のため、「子ども文庫の研究会」（仮称）の開催を計画する。
「電子図書普及事業」においては、昨年度中断した「わいわい文庫」のウェブ配信システムの構築を目指し、年度内に業務要件の整理（業務要件定義費用 8百万円）を進めるとともに、デジタル化に伴う次世代の読書環境のあり方についても検討する。

この結果、経常費用は159.6百万円となり、評価損益等調整前当期経常増減額がゼロ近傍の予算を見込んでいる。

4) 人員体制（2025年4月1日）

	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
事務局長	1	1	1	1
助成事業部	1	2	2	2
電子図書普及事業部	3	3	3	3
総務部	1	2	2	2
合計	6	8	8	8

※2025年度期中（7月以降）電子図書普及事業に1名採用予定。

Ⅱ.事業計画

1. 子ども文庫助成事業

下記表の①～⑥までの助成活動を行う。

(単位:百万円)

	2024年度	見通し	2025年度	計画
	件数	金額	件数	金額
①子どもの本購入費助成	56	16.8	60	18.0
②病院・施設子ども読書活動費助成	6	1.8	10	3.0
③子どもの本100冊助成	28	4.5	30	5.0
④子ども文庫功労賞	2	0.7	2	0.7
⑤特別支援学校図書支援助成	25	7.5	20	6.0
⑥その他読書支援 シャンティ絵本を贈る活動		1.4		1.4
被災地支援	(10校)	1.5	(10校)	1.5
助成金 合計		34.2		35.6
贈呈式 費用 (50周年記念関連含む)		28.2		6.5
その他 事業費		(※) 12.4		15.0
人件費 (社会保険料・通勤費・退職 給付費用含む)		20.2		20.7
子ども文庫助成事業 経費合計		95.0		77.8

※ 2024年度の贈呈式費用は、贈呈式に加え、記念誌、記念展示、記念品、文庫の手引き等、50周年記念事業関連を含む。

①子どもの本購入費助成（現金助成）

・対象

子ども文庫、読み聞かせ団体、子ども文庫連絡会、非営利団体等で、子どもたちへの読書支援活動歴が3年以上ある団体、及び個人。

・内容

児童書等の購入、充実を目的とした購入費を1件あたり30万円助成。
2025年度は60件、18百万円の助成を計画している。

②病院・施設こども読書活動費助成（現金助成）

・対象

病院内で療養中の子どもたち、障害児施設、養護施設、その他読書にハンディキャップのある子どもたちに対し読書啓発活動を行う3年以上の活動歴がある団体や個人、非営利団体、及び小児病棟、障害児施設、児童養護施設等。

・内容

子ども達が読書を楽しむための図書等の購入、及び障害がある子どもたちに対する読書支援機器等の購入、及び図書作成のための費用を含み、1件あたり30万円助成。10件、3百万円の助成を計画している。

③子どもの本 100冊助成（図書現物助成）

・対象

子ども文庫、読み聞かせ団体、子ども文庫連絡会、非営利団体等で、既に読書啓発活動を行っている団体。

・内容

当財団が選書した小学校低学年・中学年・高学年、乳幼児の4セットの中から希望の100冊を贈呈。任意のセットの選択、もしくは4セットに150冊リストとあたる本50冊リストを加えた全600冊の中から任意の100冊を選書することも可能。2025年度は、30件、5百万円を計画している。

④子ども文庫功労賞

・対象

子どもの読書啓発活動に長年に亘り（概ね20年以上）貢献されてきた個人。原則として第三者の推薦による応募とする。

・内容

1名につき30万円と副賞5万円相当。予定金額70万円（2名分）

⑤特別支援学校図書支援助成

・対象

既に開校済み、かつ読書啓発活動を行っている全ての特別支援学校が対象。

・内容

学校図書館の蔵書となる児童書、絵本、図鑑等に加え、バリアフリー図書の入手・製作のための費用にも充当可能。1件あたり30万円助成。2025年度は20件、6百万円の助成を計画している。

⑥その他読書支援

■シャンティ絵本を贈る活動

シャンティ国際ボランティア会が行っているカンボジア、ラオス、アフガニスタンなど絵本が不足している東南アジア地域に、日本の絵本を届ける運動。東日本大震災の被災地の子どもたちとともに活動に参加し、2025年度は、前年同様450冊程度を贈る計画である。

■被災地支援

公益社団法人全国学校図書館協議会に協力いただき、被災地で児童書を必要としている小中学校に子どもの本100冊図書セットを寄贈している。2024年度は、東日本大震災で岩手・宮城・福島県の6小学校、令和5年7月豪雨被害で秋田県の保育園1園、令和6年の能登半島地震で石川県の3小中学校、合計10校10セットの図書を寄贈した。2025年度も被災地の学校10校への図書の寄贈を計画している。

また、全国各地での助成や寄贈の実績をベースに、今まで助成対象となっていない文庫活動や読み聞かせ活動など、子どもの読書を支援されている方々を積極的に掘り起こし、助成対象を更に広げていく。

2. 電子図書普及事業

2024年度作品数と寄贈先

2010年度に開始した本事業は16年目を迎え、2024年度は「わいわい文庫」を54作品製作し、総作品数は915作品となった。これからも子どもたちの多様なニーズに応えるため、良質な児童書の電子化を進めていく。
2024年度の寄贈数は前年度同様、1,450件程度になる見込み。
2025年度は、2019年6月に施行された「読書バリアフリー法」の更なる浸透とGIGAスクール構想の下、整備が進められている1人1台端末の利活用が進むことにより寄贈希望は1,500件を見込む。

配布年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
作 品 数	72	66	70	57	54
寄 贈 先	1,453	1,413	1,419	1,454 (見通し)	1,500 (見通し)

2025年度重点施策

- ①読書バリアフリー研究会の開催等を通じて、より多くの障害のある子どもたちや保護者に届くよう、わいわい文庫の周知・啓蒙活動を推進する。
- ②わいわい文庫の更なる利活用を促すため、インターネット経由でわいわい文庫を視聴できるよう、ウェブ配信システムの検討を再開するとともに、デジタル化に伴う次世代の読書環境のあり方についても検討する。
- ③出版社や専門家等とのつながりを密にし、読書バリアフリーに関する最新情報を把握するとともに、図書館や特別支援学校等、現場のニーズを適時的確に捉え、読書バリアフリーの取組みを推進する。
- ④他のマルチメディアデージー図書の製作団体等との情報交換を一層密にし、業界の最新情報を把握しつつ、現場ニーズ等の実態に合った電子図書製作を推進する。

■製作

- ・寄贈先のニーズの把握に加え、関係団体との連携を強化し、希望が多い作品を製作する。
- ・伊藤忠グループ会社等と協同で作品製作に取り組む。

■広報・啓蒙

- ・読書バリアフリー研究会の現地開催（東京、福岡、新潟、福島）を予定する。
東京では、国立国会図書館国際子ども図書館と共催し、現地開催とオンライン配信により全国各地に読書バリアフリーに関する情報等を発信していく。
- ・障害者教育研究会や福祉機器展へ参加し広報活動を強化していく。
- ・わいわい文庫の活用例をホームページ上で紹介し、周知・啓蒙につなげる。

(単位:百万円)

	2024年度 見通し	2025年度 計画
製作・普及等事業費	11.3	21.3
その他 事業費	8	9.1
人件費	29.7	30.3
合計	49.0	60.7

以上

収支予算書(損益ベース)

2025年 4月 1日から2026年 3月 31日まで

公益財団法人 伊藤忠記念財団

(単位：千円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益				
基本財産受取利息	58,025	55,501	2,524	
基本財産受取配当金	69,120	55,296	13,824	配当金増加
基本財産受取利息振替額	6,160	6,160	0	
② 特定資産運用益				
特定資産受取利息	1,260	1,260	0	
③ 受取寄付金				
受取寄付金	4,500	6,000	△ 1,500	
受取寄付金振替額	20,498	39,469	△ 18,971	
④ その他				
雑収入				
経常収益 計	159,563	163,686	△ 4,123	
(2) 経常費用				
① 事業費				
①-1 子ども文庫助成事業費				
(1) 給料手当	16,041	16,529	△ 488	
(2) 福利厚生費	3,251	2,773	478	
(3) 通勤費	649	649	0	
(4) 助成金	35,600	35,000	600	
(5) 謝礼金	1,000	576	424	3回程度開催予定の研修会の謝礼 (10万円x3回)
(6) 贈呈式費用	6,500	13,000	△ 6,500	
(7) 旅費交通費	3,000	3,800	△ 800	
(8) 業務委託費	2,000	18,800	△ 16,800	
(9) 消耗品費	30	30	0	
(10) 印刷製本費	500	5,000	△ 4,500	
(11) 什器備品費	100	10	90	
(12) 光熱給水費	200	130	70	
(13) 使用料	1,300	1,280	20	研修会会場使用料60万円
(14) 保険料	10	10	0	
(15) 図書新聞費	30	30	0	
(16) 通信費	400	720	△ 320	
(17) 賃借料	4,135	4,135	0	
(18) 荷造運搬費	1,000	1,000	0	
(19) メンテナンス費	200	200	0	
(20) 会議費	200	200	0	
(21) 諸会費	300	300	0	
(22) 手数料	540	540	0	
(23) 雑費	50	50	0	
(24) 退職給付費用	761	350	411	
(25) 減価償却費	0	0	0	
(小 計)	(77,797)	(105,112)	(△ 27,315)	
①-2 電子図書普及事業費				
(1) 給料手当	23,920	22,090	1,830	
(2) 福利厚生費	4,349	4,112	237	
(3) 通勤費	892	694	198	
(4) 謝礼金	1,300	1,300	0	
(5) 旅費交通費	1,800	2,200	△ 400	
(6) 業務委託費	13,000	17,000	△ 4,000	ウェブ配信システム開発8 +通常業務委託費5
(7) 消耗品費	5,000	6,000	△ 1,000	わいわい文庫CD焼増し、再生ソフト付加

(8) 印刷製本費	200	1,200	△ 1,000	活用術はなし
(9) 什器備品費	100	579	△ 479	
(10) 光熱給水費	153	153	0	
(11) 使 用 料	1,400	1,400	0	PCリース料、会場使用料
(12) 保 険 料	7	7	0	
(13) 図書新聞費	100	300	△ 200	
(14) 通 信 費	1,568	1,568	0	
(15) 賃 借 料	4,241	4,241	0	
(16) メンテナンス費	184	184	0	
(17) 会 議 費	300	300	0	
(18) 諸 会 費	300	300	0	
(19) 手 数 料	644	644	0	
(20) 雑 費	50	50	0	
(21) 退職給付費用	1,238	658	580	
(22) 減価償却費	0	0	0	
(小 計)	(60,746)	(64,980)	(△ 4,234)	0
(事業費 計)	(138,543)	(170,092)	(△ 31,549)	
② 管 理 費				
(1) 役員報酬	3,015	3,015	0	
(2) 給料手当	8,763	8,819	△ 56	
(3) 福利厚生費	1,783	1,631	152	
(4) 通 勤 費	520	520	0	
(5) 謝 礼 金	32	32	0	
(6) 旅費交通費	500	10	490	
(7) 業務委託費	400	400	0	人事・労務関連
(8) 消耗品費	400	400	0	
(9) 印刷製本費	300	300	0	
(10) 什器備品費	150	150	0	
(11) 光熱給水費	150	55	95	
(12) 使 用 料	767	767	0	PCリース料
(13) 保 険 料	10	10	0	
(14) 図書新聞費	10	10	0	
(15) 文 具 費	30	5	25	
(16) 広告宣伝費	70	35	35	
(17) 通 信 費	500	400	100	
(18) 賃 借 料	1,539	1,539	0	
(19) メンテナンス費	150	112	38	
(20) 会 議 費	460	460	0	
(21) 諸 会 費	300	300	0	
(22) 手 数 料	300	230	70	
(23) 租 税 公 課	1	1	0	
(24) 雑 費	100	3,300	△ 3,200	引越し関連△3,200
(25) 退職給付費用	258	279	△ 21	
(27) 減価償却費	513	813	△ 300	引越し工事関連△300
(小 計)	(21,021)	(23,593)	(△ 2,572)	
経常費用 計	159,564	193,685	△ 34,121	
評価損益等調整前当期経常増減額	0	△ 30,000	30,000	
評価損益等	0	0		
有価証券償還損益等	0	0		
評価損益等計	0	0		
当期経常増減額	0	△ 30,000	30,000	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益 計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用 計			0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	0	△ 30,000	30,000	
一般正味財産期首残高	5,447,651	4,723,925	723,725	
一般正味財産期末残高	5,447,651	4,693,925	753,726	
Ⅱ 指定正味財産増減の部				

受取寄付金（指）				
受取寄付金（指）	23,000	24,000	△ 1,000	
基本財産運用益				
基本財産受取利息	6,160	6,160	0	
一般正味財産への振替額				
特定資産取崩額	△ 20,498	△ 39,469	18,971	
基本財産受取利息	△ 6,160	△ 6,160	0	
当期指定正味財産増減額	2,502	△ 15,469	17,971	
指定正味財産期首残高	392,443	392,443	0	
指定正味財産期末残高	394,945	376,974	17,971	
Ⅲ 正味財産期末残高	5,842,596	5,070,899	771,697	